

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年8月20日 (2015.8.20)

【公開番号】特開2015-110057(P2015-110057A)
 【公開日】平成27年6月18日 (2015.6.18)
 【年通号数】公開・登録公報2015-039
 【出願番号】特願2015-37140(P2015-37140)
 【国際特許分類】

A 6 1 N 1/39 (2006.01)

A 6 1 H 31/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/0402 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/39

A 6 1 H 31/00

A 6 1 B 5/04 3 1 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月1日 (2015.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者胸部に当てるように形成されている一対の電極であって、前記患者の心臓リズムを示すデータを入力し、および適切な場合に除細動ショックを与えるための電極と、

前記電極のうちの少なくとも一方の上、または、両方の前記電極を指示するための電極アセンブリの上にある印とを備え、

前記印は前記ユーザが前記患者の胸部の解剖学的特徴のうちの 1 つ以上のものと前記電極を位置合わせすることを補助するために形成される、除細動器に使用するための電極。

【請求項 2】

前記解剖学的特徴は、前記患者の鎖骨の少なくとも 1 つを含んでなる、請求項 1 に記載の電極。

【請求項 3】

前記解剖学的特徴は前記患者の胸部の中心線を含んでなる、請求項 1 に記載の電極。

【請求項 4】

前記解剖学的特徴は前記患者の胸部の中心線をさらに含んでなる、請求項 2 に記載の電極。

【請求項 5】

前記解剖学的特徴は前記患者の胸骨の中心を含んでなる、請求項 1 に記載の電極。

【請求項 6】

前記解剖学的特徴は前記患者の胸骨の中心を含んでなる、請求項 2 ～ 4 のいずれか一項に記載の電極。

【請求項 7】

C P R パッドを備えた中心部材をさらに備え、前記 C P R パッドはおおむね前記胸骨の位置で前記中心部材の上に載置される、請求項 1 に記載の電極。

【請求項 8】

前記 C P R パッドは C P R 胸部圧迫を加える間に介助者によって押圧されるように形成

されている、請求項 1 3 に記載の電極。

【請求項 9】

前記中心部材は 2 つの前記電極のそれぞれと機械的に連結して電極アセンブリをなす、請求項 1 または 4 のいずれかに記載の電極。

【請求項 10】

前記印は前記ユーザが前記患者の胸部の解剖学的特徴のうちの 1 つ以上のものと前記 C P R パッドを位置合わせすることを補助するために形成される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の電極。